

ISIS 捕虜が警告：我々は米政府のために仕事している

イスラム国戦士が、アメリカと ISIS テロリストの協働を認める

【訳者注】アメリカ軍とテロリストの癒着の様子について、同じ現場からのソースの違うニュースを2つ並べて載せた。相補ってより明瞭になるであろう。アメリカは事実を隠さなくなり、ISIS は、癒着の実情を我々に向かって「警告」するようになった。我々の大半は相変わらず、ISIS を全滅させて“日米韓”が結束すればよいかのように言っている。「トランプは解体鉄球を NFL にぶつけた——なぜか？」に書かれているように、今起こっていることは、不満や混乱を利用する共産主義革命であって、ちょうど 100 年前、1917 年のボルシェビキ革命によく似ているという観点が不可欠であろう。あと 1 か月から数か月で起こる「非常に大きなこと」が、シリアから起こるというシナリオはありうる。

何人かの人が言うように、憎しみや怒りでなく、平和と愛の思いで世界を満たすという意識をもつだけで、最悪の悪は避けられるのではないだろうか？

Jay Greenberg

September 29, State of the Nation



捕虜になった ISIS 戦士が、イスラム国のテロ集団は、実はアメリカ政府のために働いている、と警告し告白した。

多くの人々がすでにほぼ気づいていたことだが、デルエゾルの“戦争世界組織”（Warfare Worldwide Organization）に捕虜になっていた、階級の高い ISIS 戦士が、彼の部隊は、シリ

アに騒乱を起こし、バシヤール・アル - アサドを倒すために、米政府のために働いていた、と驚くべき告白をした。

彼のビデオによる告白は、米 - ISIS 癒着についての、ショッキングな新しい詳細を、いくつか明らかにした。

ISIS の警告者 Muhammed Moussa al-Shawwakh は、アメリカと“シリア・民主軍” (SDF、反政府側) は、シリア・アラブ軍 (SAA、政府軍) とその同盟軍からの保護を、彼らに保証したと明かした。プロパガンダ・ビデオを制作するために、ガス田と油田をこの地域に引き込む作業が交換条件であった。

LAV の報告によると、Al-Shawwakh は、このような協力は、SDF が占領したといわれるコンゴのガス田でも行われていたと話した。またこの戦士によると、協約によって ISIS テロリストは、デルエゾルのクルド人を攻撃することは禁止されていた。

1 日後に Arab Today は別のビデオを載せ、ある ISIS テロリストは、アメリカの支援するクルド人部隊と ISIS との協力の存在を確認した。

Mohammed Hussein al-Hamad は、同じような協定が、al-Izba と Jafra の油田の“解放”のときにも、クルド人との間で行われたと言った。

それだけでなく、al-Hamad によると、SDF 軍は、アメリカ製の武器を ISIS テロリストにしばしば分配していた。

<https://youtu.be/AMGtwdGbUuc>

<https://youtu.be/sCrAFtTZukQ>

これらの声明はまた、アメリカの支援する編隊が、ユーフラテス左岸に沿って、デルエゾルに向かって盛んに進軍していることなどを説明している。(数行略)

関連資料：「アムネスティ・インターナショナルは、アメリカが 2016 年、10 億ドル分の武器を ISIS に与えたことを確認」

<http://www.neon-nettle.com/news/2211-amnesty-international-confirms-us-gave-isis-1-billion-of-weapons-in-2016>

多くのシリア専門家によれば、ワシントン政府と米軍の援助する軍隊は、意識的に ISIS テロリストと協力して、シリア政府軍 (SAA) がデルエゾルの油田全域に支配権を確立するのを、阻止しようとしている。

しかし、政府軍を覆そうとするアメリカのすべての試みにもかかわらず、SAA 軍は自信をもって、ISIS に占領された領土を次々に、解放し防衛しつつある。

シリアにおける非常に危険なエスカレーション

The Saker

September 27, 2017, Information Clearing House

すでに読者の多くはこのニュースを聞かれたらう：——ロシアの陸軍中将 Valery Asapov と 2 人の大佐が、非常に正確に狙ったモルタル砲攻撃らしいものによって殺された。ロシアの憲兵部隊が最近、デルエゾル近傍で攻撃されたときと同じく、ロシアは、米政府がこの攻撃の背後にあったとして非難している。事態をさらに悪くすることに、ロシアは今、アメリカ政府が ISIS と積極的に協力していると、公式に非難している。

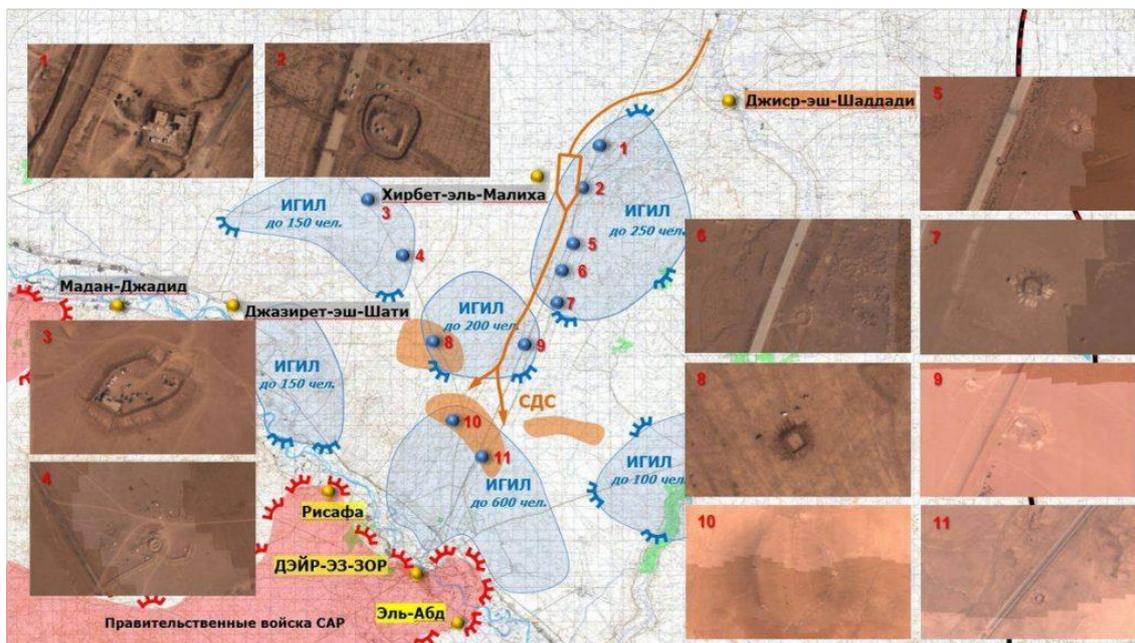
<http://thesaker.is/russian-special-forces-repel-a-us-commanded-attack-in-syria-denounce-the-usa-and-issue-a-stark-warning/>

<https://www.facebook.com/mod.mil.rus/>

米特別工作部隊は、米支援による“シリア民主軍”部隊が、ISIS の陣地内を支障なく通れるようにはからった。ISIS 戦闘軍からの抵抗に直面することなく、シリア民主軍は、ユーフラテス川左岸をデルエゾルに向かって進撃している。ISIS 陣地を上空から 9 月 8 - 12 日に空中撮影した写真は、アメリカの“シリア民主軍”が使うための、大量のアメリカの Hummer 車両を記録している。何枚かの写真は、ISIS テロリストが設けた要塞に拠っている、“アメリカのシリア軍”を明瞭に示している。しかし、攻撃や戦闘や米主導の連合軍空襲が、テロ集団を追い出そうとした証拠は見えない。ISIS 占領地内部にアメリカの要塞があるにもかかわらず、彼らを防衛するパトロールは組織されていない。このことは、米軍部隊が、テロリストの支配する領域内で、全く安全だということを意味する。

これらは、ロシア政府の提供する地図と空中写真である（より高度な解像度は[ここ](#)をクリック

ク)。 <https://colonelcassad.livejournal.com/3701634.html>



これが指し示すと思われることは、ペンタゴンが今や、明らかに、しかし非公式に、ロシア軍を直接攻撃する決心をしたことである。ペンタゴンの観点からは、これはほとんど論理的である。

まず、今かなり明らかになったことは、“よいテロリスト”も“悪いテロリスト”も、シリアの内戦に負けたことである。簡単にいえば、アメリカが負け、シリアとロシア、イランとヒズボラが勝って、イスラエルが今、発狂している。

2番目に、クルド族を、歩兵とか大砲の餌として使おうとする、アメリカの目論見は失敗した。クルド人たちは明らかに、こんな負け戦の呼びかけに乗ってくるほど馬鹿ではない。

3番目に、アメリカのプランBの選択であるシリア分割は、今はそれ自体が、シリアの軍事的成功によって直接、脅かされている。

最後にして最小でないが、アメリカ政府は今、深い屈辱を与えられ、ロシアのシリアでの成功に怒り狂っている。

そこで彼らは今、明らかに、ロシア軍人に直接ねらいを定めることにした。そして彼らのかなり優秀な偵察能力を、特別地上軍と組み合わせ、“よい”テロリスト、“悪い”テロリスト

と一緒にあって、ロシアの軍人を狙い撃ちしようとしている。(以下略)